

事業所名		放課後等デイサービス ポップステップジャンプ佐田		支援プログラム（参考様式）		作成日		R8	年	1 月	13 日
法人（事業所）理念		「笑顔・笑い・大笑い」									
支援方針		運動とリズムジャンプを中心に行い「できない」がチャレンジをすることにより「やればできる」に変え自己肯定感の向上を目指す。									
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・リズムジャンプを通じ運動不足の解消を目指します。また、リズムにより脳（前頭葉）の刺激を高め身体だけではなく脳にも疲労を与えることにより睡眠の質の向上を行います。 ・身辺自立に向けトイレトレーニング、衣服の着脱、食事など本人の能力に応じ向上ができるように支援をします。 ・地域のイベントや社会資源を使い買い物学習を行います。									
	運動・感覚	・リズムジャンプ、マット運動、球技などを行う事により運動機能の向上と苦手意識への変化を目指していきます。ビジョントレーニングトレーナーを配置しているため、個別に支援を行い視野機能の向上や集中力の向上や学習障害者に対するの苦手部分を改善していきます。									
	認知・行動	・リズムジャンプを行う事により脳の発達を促進し、注意力や集中力を向上させます。感覚統合を改善し、身体の動きと認知プロセスを結びつけるのに役に立てます。運動によりストレスを軽減し、不安等を緩和していきます。									
	言語コミュニケーション	・運動やトレーニングにより口頭及び非口頭のコミュニケーションに必要な基本的なスキルを促進し、コミュニケーションの機会を提供していきます。指示を受ける事により指示を理解し、他の人とコミュニケーションをとる方法を学びます。運動は自己表現の手段として機能し、身体的な活動を通じて感情や意図を伝える方法発展させます。									
	人間関係社会性	リズムトレーニングや運動は、人間関係と社会性を発展させる重要な手段。トレーニングなどを通じ集団活動に参加する機会を作ります。参加する事で他の人と交流や協力し合う能力が向上し人間関係を築くことができます。また協調性を促進し、他児童や職員との相互作用を通じて社会的スキルを発展させます。これらにより自信や自己肯定感を高め社会生活を送るための基盤を作ります。									
家族支援		・事業所内での様子など送迎時やSNSを通じ情報の共有。 ・家族のニーズに応じ相談援助。				移行支援		・学校、相談支援事業所などと連携を行い、児童のライフステージの変化に合わせた支援を行う。 ・本人のやりたい自分、家族のなって欲しい人物像に向け支援を行う。			
地域支援・地域連携		・関連機関との情報共有 ・地域の行事に参加、近隣の事業所間交流 ・公共の場での利用の仕方				職員の質の向上		職員研修（月 1 回）、外部研修・勉強会（推奨） 行事の立案・実施			
主な行事等		・初詣・節分・花見・プール・クリスマス会・事業所対抗運動会 など									